

令和7年12月分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和7年12月分について、輸出額は「自動車」「自動車の部分品」などが減少したことから、対前年同月比6.4%の減少となった。また、輸入額は「原粗油」「アルミニウム及び同合金」などが減少したことから、同4.4%の減少となった。その結果、差引額は7,982億円（同8.0%の減少）となった。

名古屋港における差引額は、平成23年6月以降**175ヵ月（14年7ヵ月）連続 全国港別（空港含む）第1位**

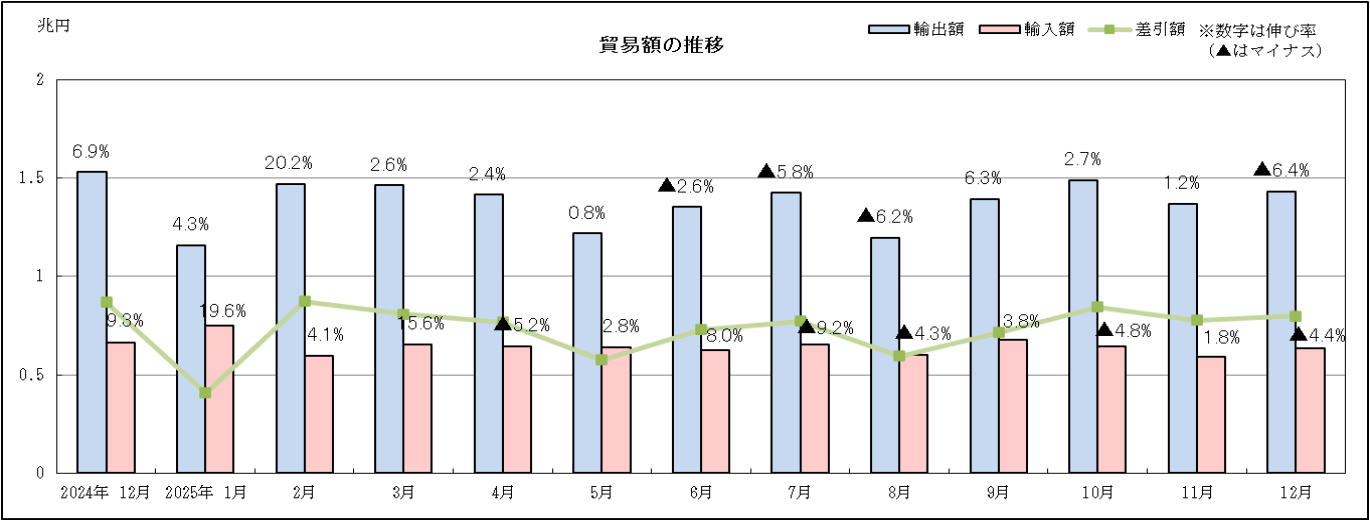
注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同月比による。

○総額

区分	輸 出 額	伸 率	輸 入 額	伸 率	差 引 額	伸 率
名古屋港	1兆4,313億円	▲6.4%	6,332億円	▲4.4%	7,982億円	▲8.0%
	4ヵ月ぶりの減少		2ヵ月ぶりの減少		4ヵ月ぶりの減少	
	順位 過去 7 位	12 月として 2 位	順位 過去 24 位	12 月として 2 位	順位 過去 8 位	12 月として 3 位
管 内（名港シェア）	2兆3,388億円（61.2%）		1兆2,208億円（51.9%）		1兆1,180億円（—）	
全 国（名港シェア）	10兆4,115億円（13.7%）		10兆3,058億円（6.1%）		1,057億円（—）	

○主な増減品目

	概 況	品 名	金 額	伸 率	寄 与 度	増 減
輸 出 少	(1)	自動車	3,695億円	▲12.9%	▲3.6	2ヵ月連続の減少
	(2)	自動車の部分品	1,618億円	▲16.2%	▲2.0	10ヵ月連続の減少
輸 入 少	(1)	原粗油	233億円	▲63.2%	▲6.1	6ヵ月連続の減少
	(2)	アルミニウム及び同合金	323億円	▲21.1%	▲1.3	3ヵ月連続の減少



※名古屋港について・・・
本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。
名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。